



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場会社名 株式会社アドウェイズ 上場取引所 東
 コード番号 2489 URL http://www.adways.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益 又は損失（△）		経常利益 又は損失（△）		親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	10,694	2.3	162	—	154	—	△54	—
29年3月期第1四半期	10,454	10.2	△3	—	△22	—	△164	—

（注）包括利益 30年3月期第1四半期 △91百万円（－％） 29年3月期第1四半期 △296百万円（－％）

	1株当たり 四半期純損失（△）	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	△1.41	—
29年3月期第1四半期	△4.04	—

（注）売上高を除く各項目の対前年同四半期増減率については、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため記載していません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	17,587	10,868	61.0	276.94
29年3月期	18,316	11,051	59.6	281.92

（参考）自己資本 30年3月期第1四半期 10,730百万円 29年3月期 10,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	2.35	2.35
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期（予想）	—	0.00	—	2.35	2.35

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	8.7	560	77.4	730	194.1	220	—	5.68

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。
 3. 平成29年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が損失であったため、対前期増減率は記載しておりません。
 4. 1株当たり当期純利益は、第1四半期末の自己株式を除いた発行済株式数である38,745,742株を期中平均株式数と仮定して算出しております。
 5. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	41,583,500株	29年3月期	41,583,500株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,837,766株	29年3月期	2,837,700株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	38,745,742株	29年3月期1Q	40,725,900株

※ 四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト（<http://ir.adways.net/>）にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して増収増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	10,454,213	10,694,332	240,118 (2.3%)
営業利益 又は損失(△)	△3,951	162,202	166,154 (—)
経常利益 又は損失(△)	△22,211	154,456	176,668 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△164,428	△54,583	109,844 (—)

売上高は、国内の広告事業が順調に推移したことにより240,118千円増加し、10,694,332千円(前年同期比2.3%増)となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費を抑制したことにより162,202千円(前年同期比166,154千円の増加)、経常利益は、営業外収益が増加したことにより154,456千円(前年同期比176,668千円の増加)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、関係会社株式及び投資有価証券評価損による特別損失を計上したものの43,479千円(前年同期は103,644千円の損失)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等を計上したことにより54,583千円の損失(前年同期は164,428千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第1四半期 連結累計期間 (平成29年3月期)	当第1四半期 連結累計期間 (平成30年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	4,326,906	4,231,728 △95,178 (△2.2%)
		PC向け広告	4,388,568	4,663,258 274,690 (6.3%)
		合計	8,715,475	8,894,987 179,512 (2.1%)
	②アプリ・ メディア 事業	アプリ事業	87,955	68,109 △19,846 (△22.6%)
		メディア事業	84,673	112,620 27,946 (33.0%)
		合計	172,629	180,729 8,099 (4.7%)
	③海外事業	1,520,045	1,617,706 97,660 (6.4%)	
④その他	46,062	908 △45,154 (△98.0%)		
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	660,999	699,561 38,562 (5.8%)	
	②アプリ・メディア事業	△21,249	△26,686 △5,437 (—)	
	③海外事業	△185,305	△101,948 83,357 (—)	
	④その他	△71,497	△65,451 6,046 (—)	

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」や、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、広告主(クライアント)の広告出稿の減少により、売上高は4,231,728千円(前年同期比2.2%減)となりました。

PC向け広告は、金融関連企業の広告取引が堅調に推移するとともに、スマートフォンブラウザを介したweb売上高が増加したことにより、売上高は4,663,258千円(前年同期比6.3%増)となりました。

この結果、広告事業の売上高は8,894,987千円(前年同期比2.1%増)、セグメント利益は699,561千円(前年同期比5.8%増)となりました。

なお、スマートフォン向け広告は主にアプリ向け広告の売上高で、スマートフォンブラウザを介したweb広告の売上高はスマートフォン向け広告ではなく、PC向け広告に含まれております。

また、前期までスマートフォン向け広告とフィーチャーフォン向け広告を合算して「モバイル向け広告」としていましたが、フィーチャーフォン向け広告の売上高が僅少なため、当第1四半期連結累計期間より「モバイル向け広告」を「スマートフォン向け広告」と表記いたしております。

②アプリ・メディア事業

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社であるADWAYS TECHNOLOGY LTD.において、スマートフォンアプリの開発・運営を行うアプリ事業と、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて土業向けのポータルサイト等のメディア運営等を行っているメディア事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームアプリの売上高が減少したことにより、売上高は68,109千円(前年同期比22.6%減)となりました。

また、メディア事業は、株式会社サムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業が堅調に推移したことにより、売上高は112,620千円(前年同期比33.0%増)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は180,729千円(前年同期比4.7%増)、セグメント損失は26,686千円(前年同期は21,249千円の損失)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール・インドにおいて、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、各国子会社の組織体制と連携の見直しを進め、効率化が進んだ結果、海外事業の売上高は1,617,706千円(前年同期比6.4%増)、セグメント損失は101,948千円(前年同期は185,305千円の損失)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、前連結会計年度においてインターネットを活用した中古品買取販売事業を営んでいた連結子会社の売却により、売上高は908千円(前年同期比98.0%減)と減少したものの、営業費用も減少したため、セグメント損失は65,451千円(前年同期は71,497千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (平成29年6月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	18,316,780	17,587,898	△728,881 (△4.0%)
負 債 合 計	7,265,250	6,719,272	△545,978 (△7.5%)
純 資 産 合 計	11,051,530	10,868,626	△182,903 (△1.7%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より661,039千円減少し14,788,250千円となりました。主な要因は、現金及び預金が149,039千円減少したこと並びに受取手形及び売掛金が504,645千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より67,842千円減少し2,799,648千円となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他に含まれる関係会社株式が37,410千円増加したものの、投資有価証券が96,682千円減少したこと、並びに無形固定資産に含まれるのれんが14,185千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より541,322千円減少し6,602,934千円となりました。主な要因は、買掛金が373,836千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より4,656千円減少し116,337千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が4,128千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より182,903千円減少し10,868,626千円となりました。主な要因は、利益剰余金が145,933千円減少したこと並びにその他有価証券評価差額金が25,495千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けておりますインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われま。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォン向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。このような状況のもと、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の売上高は、46,000百万円を見込んでおります。営業利益は、売上高の増加に伴う売上総利益の増加により560百万円を見込んでおり、経常利益730百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は220百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,853,650	8,704,610
受取手形及び売掛金	6,360,872	5,856,227
たな卸資産	7,711	8,574
繰延税金資産	25,352	28,193
その他	432,401	445,312
貸倒引当金	△230,698	△254,667
流動資産合計	15,449,290	14,788,250
固定資産		
有形固定資産	275,973	269,248
無形固定資産		
のれん	196,269	182,084
その他	122,288	133,766
無形固定資産合計	318,557	315,850
投資その他の資産		
その他	2,396,657	2,326,946
貸倒引当金	△123,698	△112,397
投資その他の資産合計	2,272,959	2,214,549
固定資産合計	2,867,490	2,799,648
資産合計	18,316,780	17,587,898
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,284,414	4,910,578
未払法人税等	68,995	112,856
その他	1,790,846	1,579,499
流動負債合計	7,144,256	6,602,934
固定負債		
その他	120,994	116,337
固定負債合計	120,994	116,337
負債合計	7,265,250	6,719,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605,258	1,605,258
資本剰余金	7,294,951	7,294,951
利益剰余金	2,771,058	2,625,125
自己株式	△1,406,527	△1,406,558
株主資本合計	10,264,742	10,118,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	320,418	294,923
為替換算調整勘定	337,885	316,668
その他の包括利益累計額合計	658,304	611,592
新株予約権	5,447	5,447
非支配株主持分	123,035	132,809
純資産合計	11,051,530	10,868,626
負債純資産合計	18,316,780	17,587,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,454,213	10,694,332
売上原価	8,692,606	8,839,707
売上総利益	1,761,606	1,854,624
販売費及び一般管理費	1,765,558	1,692,421
営業利益又は営業損失(△)	△3,951	162,202
営業外収益		
受取利息	6,785	4,639
貸倒引当金戻入額	—	7,581
消費税等免除益	251	7
その他	2,919	5,512
営業外収益合計	9,956	17,740
営業外費用		
投資有価証券評価損	824	6,326
為替差損	25,348	11,680
持分法による投資損失	21	7,233
その他	2,021	246
営業外費用合計	28,216	25,486
経常利益又は経常損失(△)	△22,211	154,456
特別損失		
関係会社株式評価損	26,990	8,180
投資有価証券評価損	54,442	95,082
固定資産除却損	—	7,714
特別損失合計	81,432	110,976
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△103,644	43,479
法人税、住民税及び事業税	21,009	86,362
法人税等調整額	31,211	4,879
法人税等合計	52,221	91,242
四半期純損失(△)	△155,865	△47,762
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,563	6,821
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△164,428	△54,583

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△155,865	△47,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,021	△25,495
為替換算調整勘定	△126,453	△18,264
その他の包括利益合計	△140,475	△43,759
四半期包括利益	△296,340	△91,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△298,977	△101,296
非支配株主に係る四半期包括利益	2,636	9,773

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対 する売上高	8,715,475	172,629	1,520,045	10,408,150	46,062	10,454,213	—	10,454,213
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	118,996	302	289,436	408,735	1,506	410,241	△410,241	—
計	8,834,471	172,932	1,809,482	10,816,886	47,568	10,864,455	△410,241	10,454,213
セグメント利 益又は損失 (△)	660,999	△21,249	△185,305	454,444	△71,497	382,947	△386,898	△3,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△386,898千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「海外事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間において事業譲受を行ったため、のれんが131,748千円増加しております。

なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対 する売上高	8,894,987	180,729	1,617,706	10,693,423	908	10,694,332	-	10,694,332
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	229,143	1,172	310,086	540,402	10,575	550,978	△550,978	-
計	9,124,131	181,902	1,927,793	11,233,826	11,484	11,245,310	△550,978	10,694,332
セグメント利 益又は損失 (△)	699,561	△26,686	△101,948	570,926	△65,451	505,475	△343,272	162,202

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△343,272千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。